



神戸市シルバーカレッジ

総合芸術文化コース音楽文化専攻

第30期生 卒業演奏会

2026年2月27日（金）11：00開演

神戸市シルバーカレッジ
カレッジホール

プログラム

【 開会の挨拶 】



【 プログラム I 】

和 太 鼓 【 喜 韻 】

作 曲 松村 公彦

演奏指導 松村 公彦

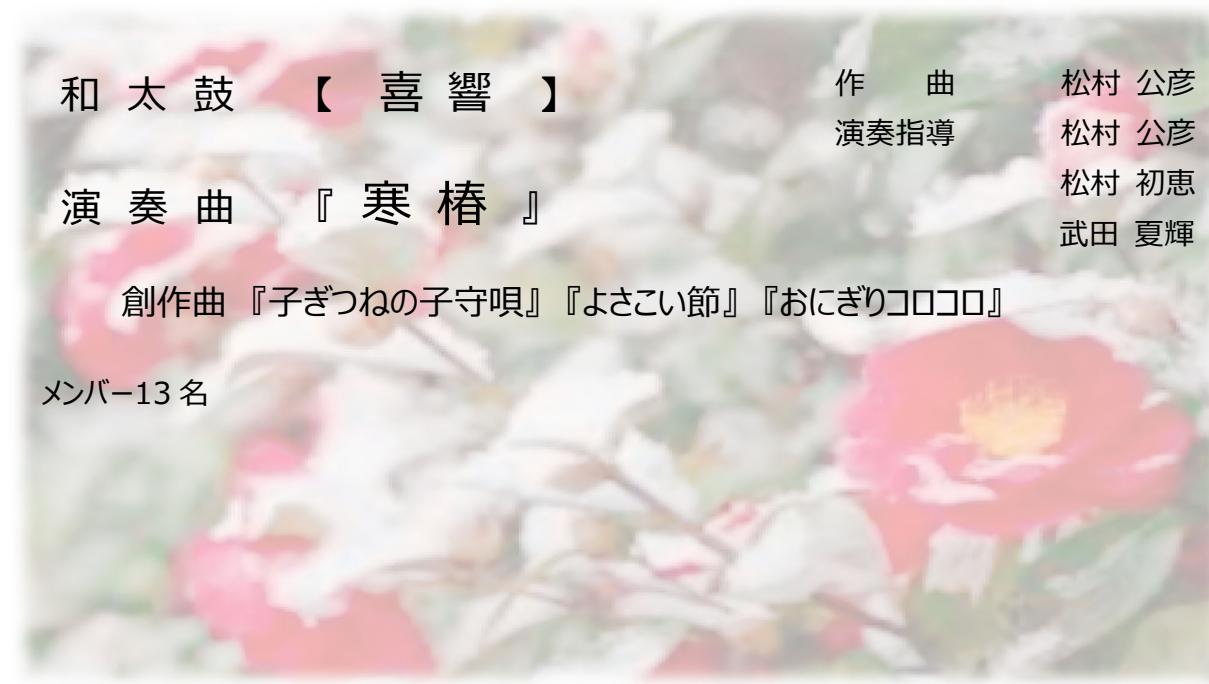
演 奏 曲 『 寒 椿 』

松村 初恵

武田 夏輝

創作曲 『子ぎつねの子守唄』『よさこい節』『おにぎりコロコロ』

メンバー13名



【 プログラム II 】

パーカッション 【 *Percussive Journey 30* 】

編 曲 山中 佑起子

山中 佑起子

柏木 菜穂子

演 奏 曲

1) 「Around The World」(Beguine) 2) 「Hand Clap& Vocalise」

3) 「Turkish March」(Rumba)

4) 「La Cucaracha」

5) 「さくら さくら」(Bossa Nova)

6) 「Around The World」(Samba)

メンバー17名



【 プログラムⅢ 】



混声合唱

【 フェルマータ 30 】

指揮

齊田 好男
中村 真実

演奏曲

『 Greetings 』

『 You raise me up 』

『 若い広場 』

メンバー30名



【 閉会の挨拶 】

各グループからのメッセージ



和太鼓【喜響】

演奏曲『寒椿』は松村公彦先生作曲の楽曲です。いっぱい汗をかいて、大きな掛け声を出して…と思って和太鼓を選んだものの、体力・リズム感は不安で、複雑な思いで臨みました。和太鼓は、打てば音はなるが納得する音が出ない。練習を重ねるうち、心地よい音が出るようになり「和太鼓の楽しさって、こういうことなのか！」と感じ始めた頃にはすっかりハマっていました。

一緒に音楽作りをすること、助け合うことでどんどん仲間意識が高まり、曲に対する意識も更に高まりました。大太鼓、宮太鼓・桶胴太鼓・締太鼓、それぞれの役割を全うすることで、30期ならではの曲に仕上がりました。冬に咲く美しい花「寒椿」。この楽曲が、いつまでも皆様方の心の中で響きますように。

パーカッション【Percussive Journey 30】

「大阪関西万博の開催、シルバーカレッジ30周年等にちなんで音楽での世界一周をしましょう！」という山中先生の提案と編曲により演奏します。グループ名は「叩くことから生まれる音のエネルギー（パーカッシブ）・仲間と共に少しずつ前へ進んできた時間（ジャーニー）・音文30期（サーティー）」としました。1曲目は映画「八十日間世界一周」の主題曲「Around The World」をビギンのリズムで旅立ち。2曲目は「Handclap & Vocalise」では「グループ毎で異なったリズムでの手拍子」と「歌詞のない歌」、3曲目は「トルコ行進曲」を「ルンバ」で。4曲目はメキシコ民謡「La cucaracha」（日本語訳ではゴキブリ）を文字通り、ゴキブリが活動を始めてから活動が終わるまでを表現。5曲目は「さくら さくら」を「ボサノバ」で。最後6曲目は世界一周を終えて再度「Around The World」、今度は「サンバ」でにぎやかに締めくくります。曲中には一度は耳にしたおなじみのメロディーが顔を出します。さてなんのメロディーでしょうか？

混声合唱【フェルマータ 30】

入学以来の3年間、多くの合唱曲と出会う事ができました。リズムの大切さハーモニーの素晴らしさを感じながら歌う楽しさを共有してきました。

今回、卒業合唱曲として斎田先生が指導してくださったのは3曲です。

1曲目『Greetings』は清水雅彦 作詩 千原英喜 作曲 の合唱曲です。

2曲目は、『You Raise Me Up』で、シークレット・ガーデンの楽曲です。初めて英語の曲に挑戦します。

3曲目の『若い広場』は桑田佳祐の作詞、作曲です。懐かしい昭和の雰囲気を共に楽しんでもらえたらと思います。

この3曲を30期で出会えた素敵なか仲間とともに、心を一つにして歌い上げたいと思います。